

2021年度山口県フットサル選手権大会兼フットサル審判研修会レポート

日時：2月27日（土）、28日（日）

会場：萩市民体育館

年度の締め括り行事、山口県フットサル選手権が萩市民体育館にて開催。

例年では、1種と4種を中心に開催されるが、コロナ禍において1種大会は中止。

4種大会が実施される中で、山口県フットサル審判員（1級～4級）を対象に研修会を開催。

実技研修、競技規則の改正を中心とした勉強会を実施しました。

参加者の皆さんが楽しく、また真剣に学んでいる姿に頼もしさを感じました。

（報告者：石原）

講師コメント：井上淑美（フットサル1級審判員）

旬の食材も旬な情報も、ネタは新鮮なうちに・・・ということで、先日オンラインにて参加したフットサル1級審判員研修会で得た情報を、なるべく新鮮なうちに地元山口県の審判仲間にお伝えしたいと思い、ざっくばらんな研修会を実施させていただきました。

フットサル競技規則は2014年以来、6年ぶりの改正となり、山口県内では本大会で初の適用となりました。今回は試合開始前から「講師」という役割で携わる気持ちで臨み、改正内容を中心に丁寧な打ち合わせを行い、実戦の中で理解を深めていただけるよう努めました。

試合終了後の研修会では、「ハンドリング」や「決定的な得点の機会の阻止（DOGSO）」、「ゴールが移動した際の判断」など、特に難しい判断が求められる内容を中心に、映像を観ながらディスカッションを行いました。

また、今回は参加者の皆さんに研修会特有の緊張感を与えないような雰囲気づくりに努め、自発的な声が聞けるよう心掛けました。

これは私自身が仕事や審判活動の中での経験の中から感じていることですが、勉強の場は堅苦しくなくて良い！むしろリラックスした雰囲気の中で学べることが成長の近道だと思っています。今後もこのようなスタイルでの研修会を行い、一人でも多くの方に気軽に「ちょっと聞いてみようかな」と思っただければと思っています。

本大会では試合の合間に県リーグに所属するチームの3級審判員の方々とも交流することができ、選手と審判員がお互いに学び合える、たいへん貴重な時間を過ごすことができました。今回のような時間が少しずつ増えていくことで、山口県のフットサルは必ず盛り上がっていくと期待しています。

参加者コメント

上條 滯奈（フットサル2級審判員）

新ルールに伴う講習会を開催していただきありがとうございます。

審判を実際にした後の講習会だったため、より新ルールへの理解が深まりました。

ただ聞く講習会ではない。どんな変化があったかクイズ形式で始まり、その答えに対して解説、修正を井上さんや石原さんがしてくれる。参加者も考えて口に出す形式で、より頭にインプットされやすく、いざ審判員として他の選手に説明するのも役に立つ講習会でした。また、文章では理解しにくいハンドリングの改正については動画を使用しながらクイズ形式で解説していただき、私達が疑問に思ったことも質問しやすい雰囲気作りもしてくださり、とても充実した講習会でした。

貴重な機会を作ってくださいありがとうございます。

山田静乃（フットサル3級審判員）

講習会ありがとうございました！

ルールブックを読むだけでは理解できない、実際の事象を元に説明していただけたことで理解ができました。また議論をしたり、この場合だとどう判定するのか、と具体的に教えていただけたことでさらに理解が深まったと思います。

ただ、自分が実際に経験しないと気づけないことも沢山あると思うので、経験を積むことでもっと理解を深めていきたいと思っています。

これからもよろしくお願いします！

岡本 寛文（フットサル3級審判員）

私がフットサル審判員としての資格を取得したきっかけは山口県フットサルリーグに参入するにあたり、チームで審判員は必要だったという理由でした。3級を取得後、県の2部リーグで実際に初めて審判をする時は経験と知識不足から、試合を回せるのだろうかという不安がとても大きかったです。2部リーグを1シーズン終える頃には審判をすることには少し慣れましたが、できることなら審判はやりたくないという気持ちがまだありました。そんな中、山口県フットサル選手権大会2021 U-12の審判員の手伝いに参加させて頂きました。会場に着くと1級、2級の審判員の方々が迎えてくださり、慣れた様子で事前の打ち合わせが行われ、細かい確認をして頂いたので、安心して審判（3審、タイムキーパー）に臨むことができました。1級、2級の審判員の方々が審判をする姿を見

ると、確かな知識と経験、冷静な判断で、審判を楽しんでいるように見えました。またそんな審判員の方がいる試合では選手も不満なくプレーに集中できるのだと実感しました。

試合の合間にFリーグの試合の動画を見ながらディスカッションをさせて頂く場面がありました。とある試合のファールの場面をみんなで確認しながら、何がいけないか、審判としてどうジャッジすべきかなどを話し合いました。ここで感じたことは競技規則に則った上でどういうジャッジをするかというのも人それぞれなのだなということです。またファールが起きた場面だけでなくその前後でプレー中の選手たちにはどのような意図があったのか、など考えて予想しながら審判をすることで適正なジャッジができるだけでなく、自分も楽しみながら審判ができそうだなと感じました。

この日を境に審判に対する考え方が少し変わりました。自信を持って楽しく審判をしたい。その為にまずは競技規則の内容を正しく理解すること、そして経験を積み、いろいろな試合を見ることが大切だと思いました。そうすることで審判としてだけでなくプレイヤーとしても今まで以上にフットサルという競技を楽しむことができる気がしました。

